

授業科目 感染防御と管理（微生物含）

【担当教員名】 葛城 啓彰 他	対象学年	1	対象学科	看護	
	開講時期	後期	必修選択	必修	
	単位数	1	時間数	15	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	◎	◎	
【概要・一般目標：G10】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 科学的根拠に基づく感染防止対策を理解する。 2. 具体的な感染防止技術を習得する。 3. 感染管理概論を理解する。 					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> 1. 感染対策の重要性を理解できる。 2. 標準予防策と感染経路別予防策の考え方を理解できる。 3. 適切な手指衛生の方法とタイミングを理解し、実践できる。 4. 防護用具の正しい選択と着脱方法を理解し、実践できる。 5. 標準予防策に基づく、器材の処理方法、環境整備、廃棄物の処理方法が理解できる。 6. 職業感染対策を理解できる。 7. 部門別感染防止対策を理解できる。 8. 看護における感染管理の目的と、感染管理者の役割を理解できる。 					
回数	授業計画・学習の主題			SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	微生物、細菌学：病原微生物の種類と特徴およびその感染経路を説明する。			1, 2	講義、担当：葛城 啓彰
2	微生物学、細菌学：1類、2類、3類感染症の特徴と感染防御を説明する。			1, 2	講義、担当：葛城 啓彰
3	感染対策の重要性、標準予防策の考え方、適切な手指衛生の方法とタイミング			1, 2, 3	講義、演習
4	適切な防護用具の着用方法と選択、洗浄・消毒・滅菌の考え方、適切な環境整備と廃棄物処理方法			1, 4, 5	講義、グループ討議
5	感染経路別予防策、職業感染対策（針刺し、ウイルス性疾患、結核）			1, 2, 6	講義、演習
6	まとめ（「こんなときどうする？」を考える）			1～5	グループ討議、発表
7	部門別感染防止対策（ICU、小児科、NICU、手術室、高齢者施設、在宅）			1, 2, 7	講義
8	感染に関する法律、感染に関連する世界情勢、感染管理とは、感染管理者の役割			1, 8	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		資料を配布します			
参考書		ベストプラクティス NEW 感染管理ナーシング	洪愛子編集	株式会社学習研究社	2006・2,800円・初版
その他の資料					
【評価方法】 授業出席状況 10点程度 レポートによる評価 10点程度 試験等による評価 80点程度			【履修上の留意点】		